

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 防災安全課
施策の基本方向	1	女性視点を反映した地域の防災力向上	
具体的施策	20	防災分野における意思決定の場への女性の参画拡大	
取組内容	男女双方の視点を反映した防災体制の整備を推進するため、防災会議や消防団等、防災分野の意思決定の場への女性の参画を促進する。		

R3年度取組内容	取組内容	消防団員が減少する中、消防団の組織の活性化や地域のニーズに応えるため、女性の持つソフトな面を活かして活動を行う。
	目標	現在16名の女性団員がいることから、2名の増員を目標とする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		消防団員に占める女性の割合	%	1.6 (H28.3.31)	1.8	2.3	2.7	3.4	3.5	3.6

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	今年度は入団者も退団者もなく、17名体制のままであり、目標である2名増とはならなかった。
	今後の課題	今後も引き続き勧誘活動を行い、団員数を増やしていく。

評価	A B	評価の理由	成果指標の消防団に占める女性の割合3.0%を超える割合を維持できた。入団者は確保できなかったが、退団者も出さなかった。
----	--------	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	活動内容の充実化を図り、団員数を増やしていきたい。
----------------	---------------------------

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	計画の当初目標は達成している。見合った評価をするべきである。
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 防災安全課
施策の基本方向	1	女性視点を反映した地域の防災力向上	
具体的施策	21	防災対策・避難所運営等への男女共同参画視点の取り入れ	
取組内容	女性をはじめとする多様なニーズを反映した防災計画の整備、女性の視点での防災用物資の備蓄等、避難所運営等への男女共同参画の視点を導入する。		

R3年度取組内容	取組内容	市地域防災計画を作成する市防災会議において、さらなる男女共同参画を促進するため、防災委員について女性消防隊や自主防災組織における女性の代表者などに就任していただき、防災計画や避難所運営において女性の視点での意見を反映させる。 市総合防災訓練における避難所運営訓練では、避難所運営委員会への女性役員の登用を推進し、女性目線での意見を積極的に取り入れ、女性が避難しやすい環境づくりを行う。 また、防災備蓄計画に基づいた備蓄の整備を進めていき、女性の視点を踏まえた備蓄品を購入することで、災害時に女性の避難所生活を支援できる体制構築を図る。 出前講座において、防災ブックを用いて女性目線など多様な観点からの防災啓発を行う。
	目標	防災会議委員において、女性委員の登用を促進する。 避難所運営訓練において、避難所運営委員会の役員において女性役員の登用を推進する。 女性の視点を含む、多くの視点を取り入れた防災備蓄品の拡充を図る。 出前講座において、女性目線など多様な観点からの防災啓発を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		男女共同参画視点からの防災に関する講演・研修等の開催数	件	13 (H28.3.31)	13	18	19	18	10	10

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	「男女共同参画視点からの防災に関する講演・研修等の開催数」においては、新型コロナウイルス感染症による影響もあり開催回数が目標値までは到達できなかった。新規に依頼される団体もあったが、例年実施されていたサロン等での開催が減少したことによる影響が大きかった。 また、防災会議においては新たに女性委員を3名登用を行い、荒尾市地域防災計画の策定に意見を聴取した。
	今後の課題	新型コロナウイルス感染症による影響が大きくなる出前講座については、積極的な啓発が不可能なため、総合防災訓練等での啓発活動についても検討を行い、様々な機会での防災啓発に努める。 防災備蓄品の購入及び避難所運営訓練(避難所運営委員会)においては、女性目線での取り組みを実施できているため、今後も継続して実施していく。 防災会議委員への女性登用については、各団体による推薦との兼ね合いを調整し、可能な限り引き続き務めていく。
評価	B	評価の理由 防災会議委員への女性登用、避難所運営訓練(避難所運営委員会)及び防災備蓄品購入における女性目線の取り組みについては、積極的に実施することができ、体制として大きく変化させることができた。 出前講座による啓発については新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、目標値の達成には至らなかったが、今後も引き続き実施を行っていく必要性を感じている。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	防災会議委員のさらなる女性の参画を進めるために、女性消防団員の参加を検討する。 避難所運営訓練をとおして、地域の方に対し、避難所運営における女性目線の必要性を啓発する。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	22	健康づくり意識の普及、啓発	
取組内容	男女がそれぞれの身体の特徴を理解し、生涯を通じた健康を保持増進するため、幅広い年代への健康づくりに関する情報提供や意識啓発等の教育活動、広報活動等を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	集団健診受診者へ、自身の健康を振り返っていただきながら生活改善の提案や、病院受診の状況確認・受診勧奨を行うために結果説明会を実施している。結果説明会は、対象者に応じてより個別性を重視した介入を行うことと、プライバシーに配慮した対応として、令和元年度より個別面談形式で行っており、健康づくりに対する意識を高め、健康の保持・増進を図っている。また、令和2年度から、後期高齢者健診受診者への個別説明会を開始した。
	目標	健診結果説明会の参加率：前年度より向上を目指す。 R2年度実績：特定保健指導：72.1%、重症化予防(特定・若年)：65.4%、重症化予防(後期)：33.3%

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、春の複合健診が中止となり、10月と12月に複合健診を実施したため、11月～2月のうち13日間結果説明会を実施した。 参加率/特定保健指導：67.1%、重症化予防(特定・若年)：60.9%、重症化予防(後期)：55.4% 特定保健指導、重症化予防(特定・若年)の参加率は昨年より5%ほど減少したものの、重症化(後期)は20%以上増加しており、後期高齢者への介入ができてきている。
	今後の課題	参加しやすい実施方法や開催場所、日時などを再度検討していき、次年度に向けて引き続き取り組んでいきたい。
評価	B	評価の理由 全ての項目で目標は達成できなかったが、後期高齢者の参加率は大幅に増加していたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	令和2年度から後期高齢者健診受診者への個別結果説明会も開始したが、指定された日時に説明会会場まで来ることが困難な方も多いため、訪問での実施など臨機応変に対応していきたい。また、引き続き新型コロナ感染への対策を行い、参加者が安心して参加できる環境を整えていきたい。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 保険介護課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	22	健康づくり意識の普及、啓発	
取組内容	男女がそれぞれの身体の特徴を理解し、生涯を通じた健康を保持増進するため、幅広い年代への健康づくりに関する情報提供や意識啓発等の教育活動、広報活動等を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	高齢者が介護が必要にならないよう、介護予防一般高齢者施策において、公民館等で「いきいきサロン」・「体カアップ体操」・「介護予防教室」等の開催箇所数の増加を図り利用者の生活機能の向上を図る。また、総合相談支援事業については、高齢者に保健・医療・福祉サービスを始めとする適切な支援につなぎ、継続的な見守りを行い、更なる問題の発生を防止するため、地域における様々な関係者のネットワークの構築を図る。
	目標	介護予防一般高齢者施策については、開催箇所数が年に2～3ヶ所以上増加することを目指す。また総合相談については、適切な支援につなぐため様々なネットワークを構築する目的で、「認知症初期集中支援チームの活動」「認知症地域支援推進員の活動」その他「声かけ・見守り訓練(徘徊模擬訓練)」などを実施し、ネットワークのさらなる拡大を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルス感染症の影響により、「いきいきサロン」や「体カアップ体操」、「介護予防教室」の新規開設はなかった。高齢者の新型コロナワクチン接種は進んでいるが、いきいきサロンや介護予防教室については、地域によっては開催自粛が続いた時期があった。
	今後の課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。

評価	C	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きく、目標値までには至らなかった。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 生涯学習課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	22	健康づくり意識の普及、啓発	
取組内容	男女がそれぞれの身体の特徴を理解し、生涯を通じた健康を保持増進するため、幅広い年代への健康づくりに関する情報提供や意識啓発等の教育活動、広報活動等を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	地区巡回スポーツ教室を開催する。
	目標	年齢や性別に関わらず誰もが参加しやすく、皆が一緒になって楽しめるスポーツ教室を通じ、生涯スポーツの振興を図る。年間に6地区での開催を目指す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		地域巡回スポーツ教室の参加者数	人	705 (H28.3.31)	420	488	482	278	138	686

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり2地区しか開催が出来なかったが、令和3年度については6地区での開催が予定された。 平井地区:11月20日(土)健康ウォーキング 桜山地区:11月21日(日)ベタンク 八幡地区:11月21日(日)アジャタ 万田地区:11月28日(日)健康ウォーキング 有明地区:2月13日(日)グラウンドゴルフ(まん延防止の影響により中止) 府本地区:3月13日(日)グラウンドゴルフ コロナウイルス感染症の影響により1地区は中止となったが5地区で教室を開催することができた。地区協議会との共同開催の所もあり例年に比べて多くの方に参加していただくことができた。
	今後の課題	開催地区によって参加者数や年齢層の偏りが出ている状況のため。なるべくすべての地区で幅広い年齢層の方に参加してもらえるように声掛けや周知を行っていく。 参加者が楽しく安全にスポーツが出来るようスポーツ推進委員と協力しながら運営を行う。

評価	B	評価の理由	6地区すべての開催とはならなかったが、開催した5地区で充実した教室が実施出来、参加者も目標に近い人数の参加があったため
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A: 目標を達成することができた B: 目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C: 目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D: 事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も年齢に関係なく、幅広い年代の方が一緒になって楽しめるスポーツ教室を開催する。 昨年度は参加者数が例年と比べて少なかった為、今年は地区協議会との連携を図り改善する。 また、今年度は感染対策を行いながら、新しいやり方を考えてなるべく実施をしたい。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 市民病院
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	22	健康づくり意識の普及、啓発	
取組内容	男女がそれぞれの身体の特徴を理解し、生涯を通じた健康を保持増進するため、幅広い年代への健康づくりに関する情報提供や意識啓発等の教育活動、広報活動等を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	①看護の日フェスタの開催 ②市民公開講座の開催 ③Zoomを利用した「地域医療連携の会」の開催
	目標	①荒尾市民病院整形外科外来前にて、健康チェック(骨密度、血糖、体脂肪、内臓脂肪レベル測定等)、健康相談、栄養相談を行う。性別を問わず健康に関して深い興味を持っていただくため、内容の充実化を図り、多数の参加を呼び掛ける。目標数50名。 ②年に8回開催予定。時代のニーズ、参加者の意見を取り入れた幅広い分野の講座を実施し、参加数の人数をアップを目指す。目標数200名。 ③Zoomによる地域医療連携の会において、コロナ等についての情報提供を各機関に伝達し、そこから各々の機関の患者等に情報提供を行ってもらい、二次的に健康づくりについての情報発信を行う。また、当院についての情報を伝達することで、当院への患者紹介を行ってもらいやすいように働きかける。目標参加数30機関。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	①看護の日フェスタ、②市民公開講座⇒新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ③Zoomを利用した「地域医療連携の会」の開催：R3.5.14(金)に開催。 ⇒参加機関46機関(うち2機関は機関を特定できず)／参加人数60名(うち6名は参加者を特定できず)
	今後の課題	①、②については、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催が困難な状況が続いている。市民公開講座の動画配信等の検討も行われたが、コロナ対応に追われている現状では、実施は難しいとの判断になった。コロナ禍においては、Zoomを利用した会議などで情報発信を引き続き行っていく。
評価	B	評価の理由 ①、②については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり実施できなかったが、③のZoomを利用した地域医療連携の会では目標を上回る機関数の参加があった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	①②については新型コロナウイルス感染症の影響で前年度は実施できなかったため、今年度においても同様の結果になる可能性が高い。そのため、コロナ禍でも実施できる取組として新たに③を掲げた。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	23	健康診査の実施、充実	
取組内容	生涯にわたる男女の健康の包括的な支援のため、各種健康診査、健康指導等を実施する。		

R3年度取組内容	取組内容	<p>○各種健康診査(健康増進法による健康診査、特定健康診査、若年者健康診査、後期高齢者健康診査)を個別健診(市内委託医療機関)、または集団健診(健診委託機関)として実施。</p> <p>○各種がん検診等(胃がん検診、ピロリ菌検査、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診)を集団検診(検診委託機関)として実施。</p> <p>○健康教育、健康相談の実施。</p>
	目標	生活習慣病の早期発見・早期治療、及び重症化予防に取り組むことにより、健康寿命の延伸、医療費の適正化を目指す。(健診・検診受診率の向上、市民に対し健康意識向上につながる啓発)

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<p>受診者数</p> <p>○健康診査(健康増進法による健康診査、特定健康診査、若年者健診、後期高齢者健診):5,289人</p> <p>○胃がん検診:1,438人 ○ピロリ菌検査:699人 ○肺がん検診:3,181人</p> <p>○大腸がん検診:3,056人 ○子宮頸がん検診:1,902人 ○乳がん検診:1,914人</p> <p>○肝炎ウイルス健診:231人 ○骨粗鬆症健診:253人 ○健康教育:654人</p> <p>○健康相談:517人</p> <p>昨年比で健康診査は2.5倍増、個別項目の検診は減少した。</p>	
	今後の課題	健診(検診)受診の必要性をより住民に周知していく必要がある。そのため、効果的な周知方法の検討を行い、実施していく。また対象者を絞った受診勧奨も実施していくことで受診者数の増加につなげていく。また、健診(検診)受診のしやすい体制づくりを引き続き行っていく。	
評価	B	評価の理由	個別項目の検診は受診者数の減少が見られたが、健康診査、健康教育は受診者が増加し、受診勧奨(個別通知や、広報掲載、チラシ配布等)を行った効果はあったと考えられるため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか

A：目標を達成することができた

B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた

C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった

D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	住民への周知活動、住民が健診(検診)を受診しやすい体制づくり(日数、会場、料金など。)を行い、健康意識の向上や受診率向上を目指す。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 総務課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	24	女性の健康の包括的支援体制の充実	
取組内容	女性の生涯を通じた健康保持のため、女性特有のがん検診等の受診体制の整備、充実を図るとともに、ライフステージごとに変化する女性の心身の健康を生涯にわたって支援するための相談体制の充実を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	・働く女性の家(エポック・荒尾)に設置している女性相談室「こ・こ・ろほっとルーム」で女性相談事業を行う。
	目標	・女性が抱えるさまざまな悩みに寄り添い、相談者が自助努力で解決できるようサポートし、女性の心身の健康を支援する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	今年度から委託業者が変更になったことに伴い、相談体制の変更があったため相談者数の減少があった。 R3実績 相談総数: 120件(面接相談: 24件(9月以降)、電話相談: 96件) うち新規相談: 37件(面接相談: 10件、電話相談: 27件) 「相談者には解決する力がある。相談員は様々な理由で力を奪われどうしてよいか分からなくなった相談者の話を聴きながら、一緒に困りごとの内容を整理しその人自身がもともと持っている力を取り戻し、自立するお手伝いをする」ということを相談員全員が共有し、対応を行った。
	今後の課題	これまで何年も傾聴を続けていた相談者が電話依存にならないために予約制を徹底し、エンパワーする相談体制をとっているため相談終結があったこと、前委託業者への相談で終わった人等がいること等により相談数が大きく減っているが、少しずつ相談者が増えてきている。市の広報に相談窓口の掲載がなくなったため、様々な啓発週間等に合わせて、女性相談の周知を実施したり、各施設に周知用のカードの設置をしていく必要がある。
評価	A	評価の理由 傾聴を継続するだけでなく、相談者の住む地域とのつながりを作ることをうながす等、これまでの相談内容の見直しを行った。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A: 目標を達成することができた B: 目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C: 目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D: 事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も女性が様々な内容についての相談ができる場として、安心安全な環境を提供していく。コロナ禍での面談相談体制の構築を検討していく。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 市民病院
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	24	女性の健康の包括的支援体制の充実	
取組内容	女性の生涯を通じた健康保持のため、女性特有のがん検診等の受診体制の整備、充実を図るとともに、ライフステージごとに変化する女性の心身の健康を生涯にわたって支援するための相談体制の充実を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	子宮がん検診・乳がん検診の受け入れ
	目標	子宮がん検診 950件(昨年927件) 乳がん検診 1,200件(昨年1,096件)

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん検診 全体1,102件(上半期:513件) ・乳がん検診 全体917件(上半期:386件)
	今後の課題	子宮がん検診については1,102件で、目標件数を約150件上回ることができた。しかし、乳がん検診は約280件下回った。来年度はオプション検査にて乳房エコー追加を開始するため、件数を取り戻すことに力を入れていく。また、10月には新しく『J.M.S(日曜日に乳がん検査を受けられる日)の参加』に登録をする予定で進めている。
評価	B	評価の理由 乳がん検診については目標を下回ったものの、子宮がん検診については目標を上回っており、今後の件数増加に向けての方針も明確になっているため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により健診業務が一時中止となり件数が伸び悩んだ。今年度も、件数の増加と維持を継続していく。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	25	性に関する正しい知識に基づいた教育の推進	
取組内容	性に関する正しい知識を身につけ、男女が互いの性を理解し、対等な関係の中で、妊娠及び出産等について決定することができるよう、教育・啓発の充実を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	<p>○プレパパ教室(父親学級)を開催し、参加者が、妊娠期・出産期の父親の役割を学び、夫婦で協力して育児をする大切さを啓発する。また、育児手技や調理実習等の実践を通して、子育ての楽しさを体験できるよう支援する。</p> <p>○母子健康手帳交付時、妊婦へ、保健師・助産師・栄養士による妊娠期の過ごし方等についての保健指導や栄養指導。</p>
	目標	<p>○プレパパ教室を実施する。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度は11月から隔月開催予定、48名が対象。)</p> <p>○全ての妊婦に母子健康手帳交付時に保健指導ができる。</p>

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	母子健康手帳交付時に、個別面談にて妊娠期の過ごし方の指導を行うとともに、県作成の「パパ手帳」等の資料を希望者へ配布し、父親への知識の普及や育児参加への促しを行った。今年度のプレパパクラスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上半期は中止し、11月、1月、3月に実施した。午前と午後、各2グループに分け少人数制で実施。合計46人(父親23人、母親23人)の参加であった。
	今後の課題	母子健康手帳交付は、個別に面談を行うことで、妊婦の個別のニーズに合わせた支援を行い、妊婦の夫・パートナーが同席した場合には、夫向けにも育児参加へ啓発等行っていく。プレパパクラスに関しては、昨年度のアンケート結果を参考にしながら、沐浴や妊婦体験など体験実習の時間を増やし、満足度の高いクラスになるよう攻勢を検討していく。
評価	B	評価の理由 プレパパクラスについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上半期は中止したが、開催した月のアンケートから参加者の高い評価が得られたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか

A：目標を達成することができた

B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた

C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった

D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	母子手帳交付は、個別に面談を行うことで、妊婦の個別のニーズに合わせた支援を行い、妊婦の夫・パートナーが同席した場合には、夫向けにも育児参加へ啓発等行っていく。プレパパクラスに関しては、アンケート結果を参考にしながら、沐浴や妊婦体験など体験実習の時間を増やし、満足度の高い教室になるよう構成を検討していく。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 学校教育課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	25	性に関する正しい知識に基づいた教育の推進	
取組内容	性に関する正しい知識を身につけ、男女が互いの性を理解し、対等な関係の中で、妊娠及び出産等について決定することができるよう、教育・啓発の充実を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	管下の小中学校への職員研修状況調査(5月) 職員研修用の資料の発信(県・国からの資料)
	目標	管下、全ての小中学校において、男女共同参画に特化した研修の実施と充実を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	○小中学校への男女共同参画に関する調査実施(5月19日実施) ○校内での研修実施状況 ・実施校…全小中学校で実施(小学校10、中学校3) ・実施内容…男女共同参画をテーマにした学校1、人権教育研修を兼ねて実施した学校12 ・研修形態…授業研究3、講和6、教材研究9、実践発表1 全ての学校で職員研修が実施されている。研修形態も多様で弾力的に行われていた。
	今後の課題	・現状としては男女共同参画に特化した研修というより人権教育研修の男女差別の視点での研修がほとんどであり、更に内容の充実とともに特化した研修の実施も検討する。 ・昨今、中学校における男女の制服を巡る校則の見直しを生徒主体で取り組ませるなどの動きがあることから教職員の認識を高める必要がある。
評価	B	評価の理由 男女共同参画に特化した研修はまだ多くの学校では実施されていないが、全ての学校で目標に沿った内容で研修が行われ、成果をみた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	小中学校における男女共同参画に関する調査結果において13校中13校実施している事が分かった。今後は、男女共同参画に特化した研修等も充実させていく必要がある。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 市民病院
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	25	性に関する正しい知識に基づいた教育の推進	
取組内容	性に関する正しい知識を身につけ、男女が互いの性を理解し、対等な関係の中で、妊娠及び出産等について決定することができるよう、教育・啓発の充実を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	産婦人科外来において、不妊症、生殖・内分泌疾患、婦人科腫瘍(良性・悪性)等、地域の医療機関と連携し、より安全で安心して受診できる診療体制を目指す。また、熊本大学病院産婦人科と診療連携しており、より新しく専門性の高い医療の実現を目指す。
	目標	年間産婦人科診療件数目標:2500件(昨年2488件)

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も多大にあったと思慮する。しかしながら、婦人科診療件数、今年度実績件数は2,474件と、目標のはわずかに届かなかったものの、ある一定の成果は得られたのではないかと分析する。
	今後の課題	次年度以降も引き継ぎ、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、対策を講じつつ、安心して受診していただける環境づくりに、尽力しなければならない
評価	B	評価の理由 今年度実績件数は2,474件と、目標数値は達成できなかったが、コロナ禍の状況下でありながらの、実績数値としては評価に値するものと思慮する。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の影響による受診の自粛と思われる診療件数の減少傾向は、今年度も継続するものと思慮するが、その中において、安心・安全に患者さんに受診していただくか、感染予防対策、環境作りを考慮していかねばならない。今後も継続して、避妊・妊娠・不妊・性感染症・婦人科系疾患・更年期障害・その他の主訴で産婦人科を受診される方が、安心して受診できる診療体制を目指す。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	26	妊娠、出産等に関する健康支援体制の充実	
取組内容	女性の健康にとって大きな節目である妊娠・出産期において、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠・出産・子育てにわたり、母子保健サービスの提供、医療のサポート、相談体制の充実等、切れ目のない支援を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○母子健康手帳交付時に、妊婦と個別面談を実施する。妊婦へ、保健師・助産師・栄養士による保健・栄養指導を実施する。保健師・助産師による問診で、妊婦ひとりひとりに合わせたセルフプランを作成する。 ○助産師・保健師による、妊娠中からの電話相談を実施する。 ○産科医療機関と連携し、支援がより必要な妊婦や産婦の情報提供があった場合、速やかに支援を行う。 ○母子保健事業全般において、妊娠・出産・育児等に係る幅広い相談を実施する。 ○健診未受診者に対して、電話や家庭訪問等による受診勧奨を行う。 ○母子保健推進員の活動支援を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児健康診査受診率の向上 ○母子保健推進員の増員(2名) ○母親学級に代わり、保健師・助産師による妊婦への個別面談(約40分間)を全妊婦に実施する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		乳幼児健康診査受診率	%	96.3 (H28.3.31)	96.6	97.0	97.7	96.1	96.5	93.6
	母親学級参加率	%	76.9 (H28.3.31)	66.2	62.9	59.9	64.3	個別面談に変更	個別面談に変更	80.0
	母子保健推進員数	人	9 (H28.3.31)	8	6	6	6	9	10	15

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ○母子手帳交付時に、保健師、助産師が妊婦を個別面談を実施し、妊婦の生活背景や疾病の有無、リスクを情報把握し、妊婦ひとりひとりに合わせた支援をプランニングし、支援を行った。 ○全妊婦に対し、34週以降に電話訪問を行うことで、出産に向けた不安や産後のサポート等を把握し、産後の早期訪問につながった。 ○乳幼児健診では、児の状況を把握し必要な場合個別支援を行っているが、健診未受診者に対し電話や家庭訪問を行い、フローチャートに沿って受診を促した。 ○母子保健推進員は1名増加し、10名になり定例会、研修会を行い資質向上に務めた。
	今後の課題	母子保健サービスの提供を充実させるため、事業の周知の徹底、関係機関との連携、地区担当を通じた切れ目のない支援を行う必要がある。

評価	B	評価の理由	目標達成には及ばなかったが、妊娠期から継続して母子保健サービスを提供することができた。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<p>母親学級は、令和2年から市民のニーズに合わせ、予約制にし、妊婦への相談内容を充実させることで、一人一人に合った個別性の面談ができた。今後も限りある面談時間の中で、必要な聞き取りや指導を行えるよう資料等を検討していく。</p> <p>母子保健推進員の周知及び活動紹介を継続して行う。</p> <p>幼児健診に関しては、受診者の待ち時間が長時間にならないよう、実施体制の見直しを行いながら実施していく。</p>
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 子育て支援課
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	26	妊娠、出産等に関する健康支援体制の充実	
取組内容	女性の健康にとって大きな節目である妊娠・出産期において、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠・出産・子育てにわたり、母子保健サービスの提供、医療のサポート、相談体制の充実等、切れ目のない支援を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	①子ども医療費助成の実施 ②多子世帯子育て支援の実施
	目標	①事業の継続及び周知の徹底、円滑な実施に努める。 ②児童が3人以上いる世帯の第3子以降の児童について保育料や副食費の無料化を継続して行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	①②継続して事業を実施した。
	今後の課題	①②今後も継続して事業を実施する。
評価	A	評価の理由 それぞれの取り組み内容を行い、目的を達成した。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた
 B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
 D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	継続して事業を実施する。
----------------	--------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 市民病院
施策の基本方向	2	生涯を通じた健康づくりへの支援	
具体的施策	26	妊娠、出産等に関する健康支援体制の充実	
取組内容	女性の健康にとって大きな節目である妊娠・出産期において、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠・出産・子育てにわたり、母子保健サービスの提供、医療のサポート、相談体制の充実等、切れ目のない支援を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	産婦人科における診療体制の充実
	目標	産科診療では、安全で安心して迎えることが出来るようしっかりとした体制でサポートが可能であることについての広報活動を行う。ハイリスク妊産婦に対する開業医との連携を図る。開業医との連携目標件数：15件(昨年11件)

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	今年度の分娩件数は18件。ハイリスク妊産婦については、上半期9件、下半期9件の紹介を近隣の開業医よりいただいた。コロナ禍での対応の充実が、昨年度実績、また、今年度目標を達成する結果につながったのではと思慮する。
	今後の課題	次年度も、新型コロナウイルス感染症の影響は継続するものと思われ、立ち合い分娩、面会の禁止等、妊婦やご家族の不安感を緩和する、ツールの充実を図る。例年同様、感染予防対策をとり、多くの妊産婦の紹介を受けられるよう、病院のホームページや広報あらお等を利用してアピールし、医師会、開業医との連携をより一層深めていきたい。
評価	A	評価の理由 コロナ禍での対応の充実が、昨年度実績、また、今年度目標を達成する結果につながったのではと思慮する。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の影響による立ち会い分娩・面会の禁止等、妊婦や家族にとって、いつもより不安感が増していた可能性もある。タブレットを使用したオンライン面会、お見舞いメールなどの利用等、院外向けへアピールしていきたい。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響は継続すると考えられるため、感染予防対策をとり、安心して分娩ができ、母子ともに安心できる環境作りを考慮していきたい。今後も継続して、妊産婦の紹介を受けられるよう、医師会やクリニックにPRしていき、病院のホームページや広報あらお等を利用して一人でも多くの妊産婦が出産していただけるようにアピールしていきたい。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 総務課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	・女性に対する暴力をなくす運動週間(毎年11/12～11/25)について、広報や市ホームページで周知する。
	目標	・女性に対する暴力をなくす運動週間を広く周知することを通じ、身近にある暴力について市民に考える機会を提供し、意識啓発を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	女性に対する暴力をなくす運動週間(毎年11/12～11/25)について、女性相談窓口を持つすこやか未来課と共に広報記事の作成準備を行い相談窓口の周知11月号の広報に掲載した。
	今後の課題	DV等の渦中にある方は、自分自身がDV被害者との認識が薄いことも多く、相談できる人は一歩進んでいるが、全く気付かないまま自由を制限されている女性がいまだ多い現状がある。引き続き広く周知していくことが重要。
評価	A	評価の理由 広報やHPでの啓発を実施した。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も継続して、情報発信に努め、暴力に悩む女性へ周知を図る。
----------------	--------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 市民課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	住民基本台帳の一部写しの閲覧及び住民票の写し等の交付並びに戸籍の附票の写しの交付におけるDV(ドメスティック・バイオレンス)、ストーカー行為等、児童虐待及びこれらに準ずる行為の被害者の保護のため支援措置制度について周知に努める。
	目標	DV(ドメスティック・バイオレンス)、ストーカー行為、児童虐待などの被害者支援の一つである住民基本台帳事務における支援措置制度について、市の広報媒体等を活用した周知活動を行う。 また、支援措置制度担当者の職員を増やし、支援を必要とされる方への案内や対応が適切かつ臨機応変に行えるようにする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	荒尾市ホームページにDV被害者等保護のための支援措置制度について掲載し、市民への周知に努めた。 また、支援措置制度担当の職員を1名から2名に増員したことで、支援を必要とされている方への案内や対応がスムーズに行えるようになった。
	今後の課題	支援措置制度は、戸籍や住民異動、マイナンバー制度に係る番号連携サーバに関係しているため、支援措置制度に関連する分野についても対応できるような体制等を検討する必要がある。
評価	A	評価の理由 市民に対し制度の周知を行い、また支援を必要とされる方に対して適切な案内や対応ができたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	市民団体や地域住民への啓発に力をいれ、支援措置の対象者の不安が軽減できるような周知に努めること、また、支援措置担当者不在の際であっても対応できるよう、担当者の人材育成に努める必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 防災安全課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	女性をはじめとする市民が事故・犯罪等に巻き込まれることを防ぐ必要があることから、自主防犯パトロール隊をはじめとする組織による地域巡回活動を行う。また、積極的な青色防犯パトロール車の貸し出しも行う。
	目標	青色防犯パトロール車による巡回活動には一定の犯罪及び交通事故発生を抑止効果があるため、自主防犯パトロール隊をはじめとする組織の巡回活動の強化を図る。また、指標には巡回活動の回数を用いる。ただし、コロナ禍にあるため、感染状況等を鑑みて活動には十分な注意を払うものとする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		防犯パトロール回数	回	2,200 (H28.3.31)	1,500	2,150	2,704	2,862	2,719	2,603

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	全庁的に公用車による市内移動の際に、防犯を兼ねたパトロールカーによる巡回ができた。
	今後の課題	単に巡回を行うだけでなく、道路の破損や人の動き等、街の小さな「変化」に気が付けるようにしたい。事情が許すかぎり青色灯は極力点灯させる方向に各部署に要請をしていきたい。
評価	A	評価の理由 予め設定した目標値をクリアすることができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	市民の「自主防犯パトロール隊」は若い世代が少なく、今後の課題である。
----------------	------------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	女性に対する暴力等、女性が抱える問題の解決にむけ女性相談窓口を広報へ掲載
	目標	女性に対する暴力等、女性が抱える問題の解決にむけ啓発活動を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	女性に関する暴力等、女性が抱える問題の解決に向け女性相談窓口について広報及びホームページで周知した。11月の女性に対する暴力をなくす運動実施期間に関係機関へ啓発ポスター等の掲示依頼を行った。
	今後の課題	ホームページへ相談窓口のQRコードを掲載する等充実を図る。また、女性に対する暴力等、女性が抱える問題の解決に向け関係機関と連携した啓発活動を行う。
評価	A	評価の理由 概ね計画通りの取組ができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も継続して事業を実施する
----------------	----------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 産業振興課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	事業主に対してDVやセクシャルハラスメント防止の周知・啓発を図っていくために、県と連携し関連セミナーやリーフレットの情報発信を行う。
	目標	男女ともに労働者がいきいきと働くことができ、DVやセクシャルハラスメントのない職場環境づくりの推進を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	事業主に対して電子メール等により、DVやセクシャルハラスメント防止のための周知・啓発を行った。
	今後の課題	関係機関との連携した啓発や呼びかけを中々行うことが出来ていないため課題となる。
評価	B	評価の理由 事業主に対して、周知や啓発は行えたものの、目標であった県との連携がとれなかったため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	昨年度に引き続き、男女労働者がDVやセクシャルハラスメントのない職場でいきいきと働くことができるよう、事業主に対し周知・啓発を行う。 また、熊本労働局と連携を行い、関連講座やリーフレット等により周知や啓発を行う。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 議会事務局
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	暴力やあらゆるハラスメントに留意した議会運営に努める。 人権や男女共同に関する研修会を案内し、議員の理解を深める。
	目標	男女が互いに性差を理解し、個人の尊厳を尊重し、人として尊重される社会づくりの推進をはかる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	今年度は、議会において暴力やハラスメントとみられる発言はなかった。人権や男女共同に関する研修会については、新型コロナウイルスの感染拡大のため、研修会を案内ができない状況であった。
	今後の課題	コロナ禍で移動や人との接触が制限されるという環境の変化もあるので、オンラインも含めて研修会ができるような環境整備を考えていきたい。
評価	C	評価の理由 研修会を積極的に案内することができなかったため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	コロナの影響により、研修会が開催されていない状況ではあるが、リスクレベルが下がり、研修会が開催されるようになれば、適宜、案内を行っていくとともに、関係する情報提供に努め、設置への啓発を推進する。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 関係各課(税務課)
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	27	あらゆる暴力の根絶にむけての啓発活動の推進	
取組内容	DVや様々なハラスメントを含むあらゆる暴力の根絶に向けて、行政や警察のみならず市民団体や地域住民、関係機関と連携した啓発活動を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	課税情報に関する証明書や通知書の発行、窓口における税情報の管理徹底。
	目標	人為的ミスによるDV等被害者の個人情報等の洩れを防ぐため、定期的に市民課と住民票交付制限者の情報を連携し、税情報の扱いに細心の注意を払う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	市民課と連携し住民票交付制限者情報を定期的に取得し、税情報関係文書の発送や窓口(電話)応対等、住民情報システムの交付制限者表示に留意し、細心の注意を払い、DV等被害者の個人情報保護に努めた。特別徴収義務者への通知書の月次発送の際、交付制限者の住所等を確認し、必要に応じて付箋処理をしている。
	今後の課題	今後も継続して市民課との連携を図り、DV等被害者の個人情報の保護について、人為的ミスによる漏洩を防ぐため、課内で情報を共有し、高い意識で業務に励む。
評価	A	評価の理由 職員の人為的ミスによる漏れや見落としによるDV等被害者等の個人情報等の漏洩を防ぎ、税情報の適正な管理に努めた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	引き続きDV等被害者の課税情報の管理徹底を図る。
----------------	--------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 総務課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	28	あらゆる暴力被害者への相談体制及びカウンセリング等の充実	
取組内容	被害者相談窓口や支援機関の所在等の効果的な周知に努め、充実した相談体制の整備を行う。また、相談員の研修等への参加機会を拡大し、相談員のケア及びスキルアップを図る。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力被害者の女性を含め広く女性相談室「こ・ころほっとルーム」を知ってもらえるよう効果的な周知を行う。 ・相談員のスキルアップのための情報提供を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談室「こ・ころほっとルーム」について、広報や市ホームページ、関係機関での周知カード・チラシの掲示を通じて広く周知を図る。 ・相談員のスキルアップのため、各種研修等の情報提供、スーパービジョン(熟練した指導者による、相談者の資質向上のための教育)の実施を推進する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		DVの相談機関の認知度	%	73.6 (H27アンケート調査結果)	-	-	-	-	73.3	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛情ネットを利用して毎月女性相談室「こ・ころほっとルーム」の周知を行っている。 相談員4名のスキルアップのための研修等への参加状況は、全員での参加が4回、その他は代表者1名が5回、相談員1名が1回の研修に参加した。 今年度スーパービジョンにかける内容がなかったため実施されなかった。
	今後の課題	相談員同士のコミュニケーションをさらに密にし、相談員が変わっても相談者に同じように対応できるような相談体制を気付いていく必要がある。
評価	B	評価の理由 相談員のスーパービジョンの実施がなかったが、スキルアップへの研修の参加の実績はあった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス拡大に伴い、面接相談を実施できなかった。今後持続的な相談体制を構築していくため、オンライン等を利用した面接相談について考えていく必要がある。また、市民意識調査結果から、DV相談先を知らない人の割合がほとんど変化がない状況が見えるため、必要とする人に情報が届くような周知の方法を考えていく必要がある。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	28	あらゆる暴力被害者への相談体制及びカウンセリング等の充実	
取組内容	被害者相談窓口や支援機関の所在等の効果的な周知に努め、充実した相談体制の整備を行う。また、相談員の研修等への参加機会を拡大し、相談員のケア及びスキルアップを図る。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性相談員や家庭児童相談員による相談事業の実施 ○ 女性相談員や家庭児童相談員の研修会の参加
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談員のプライバシーに配慮した相談事業の継続 ○ 継続して研修に参加することにより相談員の資質の向上を目指す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルス感染拡大の中ではあったものの、例年同様相談事業の実施ができた。また、児童相談・女性相談ともに、定期的な進行管理会議を実施し、オンラインにより関係機関の参加もできた。研修会は実施見合わせが多かったが、オンライン研修会等への参加ができた。
	今後の課題	係内でケース進捗管理を行い、進行管理会議で関係機関と情報共有を図る。相談業務については、今後も継続して事業を実施する。
評価	A	評価の理由 概ね計画通りの取組ができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も継続して事業を実施する
----------------	----------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 総務課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	29	関係機関との連携による被害者に対する救済及び自立支援の推進	
取組内容	関係機関・支援団体等とのネットワークを構築し、連絡会議等での情報共有、被害者救済のための体制整備を図り、被害者の自立支援を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	・女性相談業務において暴力が関連する相談ケースが発生した場合は、必要に応じ関係機関や市役所関係部署に情報提供を行う。
	目標	・相談内容に応じ、連携が必要な関係機関との情報共有を行いながら、相談者の支援を推進する。 ・すこやか未来課女性相談員、スクールソーシャルワーカー、男女共同参画女性相談員との連携会議を開催する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	・女性相談室に金銭面での困難を抱える女性からの相談があったため、福祉相談につないだ。 ・すこやか未来課女性相談員、スクールソーシャルワーカー、男女共同参画女性相談員との連携会議は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。
	今後の課題	傾聴を続ける中から、相談者の抱える困難を整理し、最善の手段を提供していく。相談者自らが一歩踏み出せるような相談体制を作っていく。
評価	A	評価の理由 他課への連携ができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	・例年行っている男女共同参画女性相談室相談員、スクールソーシャルワーカー、すこやか未来課女性相談員との会議が新型コロナウイルスにより開催できなかった。今後のコロナの状況をみながら連携を図っていく。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 保険介護課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	29	関係機関との連携による被害者に対する救済及び自立支援の推進	
取組内容	関係機関・支援団体等とのネットワークを構築し、連絡会議等での情報共有、被害者救済のための体制整備を図り、被害者の自立支援を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	多職種連携による地域ケア会議や研修会、事例検討会等を通じてネットワークの強化を図ると共に、関係者の資質向上を図り、高齢者の自立推進を図る。
	目標	地域ケア個別会議を毎月開催し、事例検討を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、4月開催分は5月に延期して実施し、5月開催分以降は、感染対策を徹底の上、毎月実施した。令和4年2月、3月においては、オンライン開催で実施した。
	今後の課題	コロナ禍における新たな地域課題の把握と、解決策の検討が必要である。
評価	A	評価の理由 ひと月は延期としたが、年間の事例検討件数は、年度当初の予定の件数を実施することができたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	3	男女間におけるあらゆる暴力の根絶	
具体的施策	29	関係機関との連携による被害者に対する救済及び自立支援の推進	
取組内容	関係機関・支援団体等とのネットワークを構築し、連絡会議等での情報共有、被害者救済のための体制整備を図り、被害者の自立支援を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	関係機関(警察、県女性センター、庁内の他部署等)と情報交換を行いながら必要な支援につないでいく。
	目標	各関係機関との連携の強化を図り支援をつなげる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	関係機関と情報共有、ケース会議の開催を行い、それぞれの役割確認、ケース支援を実施した。
	今後の課題	今後も継続した支援を行う。
評価	A	評価の理由 概ね計画通りの取組ができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も継続して事業を実施する
----------------	----------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 総務課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	・働く女性の家(エポック・荒尾)に女性相談室「こ・こ・ろほっとルーム」を設置し、女性相談事業を行う。
	目標	・女性が抱えるさまざまな悩みに寄り添い、必要に応じ関係機関と相談者を繋げながら、相談者の自助努力での解決を促し、自立支援をサポートする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談室に金銭面での困難を抱える女性からの相談があったため、福祉相談につないだ。 ・すこやか未来課女性相談員、スクールソーシャルワーカー、男女共同参画女性相談員との連携会議は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。 ・女性相談室で、経済的困難を抱える女性向けに生理用品の配布を行い、受け取りに来た女性を相談窓口につなげた。
	今後の課題	コロナ禍で女性の自殺が増えている中、非正規の多くを占めるのは女性であるため、相談窓口の周知徹底を継続していく必要がある。今後も生理用品の配布をとおして、女性相談につなげる取り組みを継続していく必要がある。
評価	A	評価の理由 生理用品の配布という事業を通じ、経済的困難を抱える女性を相談につなげることができたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	持続的な相談体制の構築のためにも、オンライン相談の実施も考えていく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 福祉課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	○自立相談支援事業 就労の支援その他の自立に関する問題につき、生活困窮者及び生活困窮者の家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言をし、並びに関係機関との連絡調整を行う。
	目標	○現在、生活保護は受給していないが、生活保護に至る可能性のある者で、かつ、自立が見込まれる者に対して、早期の段階から支援を行うことにより、第2のセーフティネットとしての機能の充実や強化を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	令和4年3月31日時点での新規相談件数は、194件であった。 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、相談者宅への訪問ができない時期もあったが、電話による状況伺いで、相談者を孤立化させないよう努めた。また、市民や関係機関への周知活動も継続しており、平成27年度開始以降、関係機関との連携は深まりつつある。
	今後の課題	本制度の対象者は、「現在、生活保護は受給していないが、生活保護に至る可能性のある者で、かつ、自立が見込まれる者」であるが、相談者の中には「低年金の高齢者で、自立が見込めない者」「精神疾患や発達障害(疑いも含む)を抱えており、早期就労が難しい者」「収入が絶対的に不足しており、一旦生活保護を受給せざるを得ない者」も多い。また、世帯内の世帯員各々が抱えている困りごとが異なり、その世帯の問題が複雑化している傾向があるため、解決に向けた優先順位を考慮しつつ、対応をどのように図っていくかが検討課題である。
評価	B	評価の理由 支援の結果、全ての相談者の問題解決が図れたわけではないが、関係機関と連携し、引き続き支援を行っている。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	本制度の対象者は、「現在、生活保護は受給していないが、生活保護に至る可能性のある者で、かつ、自立が見込まれる者」であるが、相談者の中には「低年金の高齢者で、自立が見込めない者」「精神疾患や発達障害(疑いも含む)を抱えており、早期就労が難しい者」「収入が絶対的に不足しており、一旦生活保護を受給せざるを得ない者」も多い。今後は、これらの者への対応をどのように行っていくかが検討課題である。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 すこやか未来課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	<p>○母子保健事業等において把握した、様々な生活上の困難に直面する女性等に対し、関係機関、関係部署や利用できるサービス等についての情報提供を行うとともに、関係機関や関係部署等と連携し、ケースに応じた支援を行う。また、保護者の心身面の健康状態や育児状況の把握を行い、継続的な支援を行う。</p> <p>○家庭児童相談員や女性相談員が電話や来所等の相談を受ける。</p>
	目標	<p>○ケースの状況を把握し、必要と思われる情報提供や関係機関等へのつなぎを行うなど、適切な支援ができる。</p> <p>○経済的困難や社会的困難などの解決のための支援を行う。</p>

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	母子保健担当を始めとした関係機関との連携のもと、ケースに応じ継続的な支援を実施している。
	今後の課題	母子保健担当と連携を強化しながら継続した支援を行う。
評価	A	評価の理由 概ね計画通りの取組ができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も継続して事業を実施する
----------------	----------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 保険介護課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	地域包括支援センターによる総合相談、無料認知症相談を行っており、認知症地域支援推進員を配置することで、認知症に限らず高齢者が地域で安心して生活を送れるように支援を行っている。地域全体で認知症の方やその家族を支えていく体制を構築できるように、さまざまな年代の方に認知症の正しい知識や接し方を伝えている。
	目標	生活支援が必要な方には、各関係機関とも連携して介入を行う。また、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、市の認知症施策に関する事業や認知症の人への支援方法について周知を図っていく。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	認知症サポーターステップアップ講座の実施については、検討中である。 認知症サポーター養成講座については、時間を短縮する等の感染対策を行うことで、コロナ前と同等の実施ができています。
	今後の課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも認知症サポーターステップアップ講座が開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。
評価	C	評価の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きかったため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 産業振興課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	経済的・社会的な困難等、様々な問題に直面されている方々に対し、自立支援セミナーや相談所の情報提供を随時行っていく。
	目標	効果的な支援を行うため、関連機関や相談員の方と連携を行ったり、広報活動に努める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	たまな若者サポートセンターやジョブカフェ玉名ランチ等の関係機関と連携し相談会を行った。また、セミナーや相談所等の情報提供についても随時行うことができた。
	今後の課題	様々な問題に直面する方々に対し、広くセミナーや相談所に関する情報提供を行っていくことが課題となる。

評価	A	評価の理由	関係機関と連携し相談会等の支援を行った。また、セミナー等の情報提供についても行うことができた。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	経済的・社会的な困難等、様々な生活上の困難に直面する方への自立支援セミナーや相談所等に気を配り、情報提供につなげる。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 教育振興課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面しているのではないかと懸念されるご家庭や当事者に対し、一つ一つの事案を面談等により把握し、当事者、関係者に受け入れてもらえる解決策の相談、検討を行うとともに、当事者、関係者と相談員、関係機関等との共通理解のもと、様々な支援制度、仕組みを適切に利用しながら改善、解消を図る。
	目標	支援を受ければ解消する可能性のある当事者は、直面している困難が何なのか把握できず困り感だけを抱え込んでしまっている場合もあり、問題が潜在している対象者も少なくないが、まずは、解決への切欠を見つけ出し、対象者に「解決できることなのだ」という安心感を持っていただくとともに、少しでも改善につなげながら解消へと導く。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	SSWやSCによる不登校児童生徒及びその保護者との面談において、不登校の要因を探る家庭の中で、経済的に困窮しているような状況のひとり親家庭等に就学援助制度を案内し繋げるほか、相談者の様々な生活上の困難を解決に導く為に、他機関とも連携し、個々に必要な支援を行った。また、SSW・SC間での連携を積極的に行う事で、環境面におけるアプローチと心理面におけるアプローチをより効果的にする事ができた。
	今後の課題	児童生徒の保護者の中には、未だ経済的・社会的に困窮していながら、周囲に相談できる相手がおらず、また、相談先としてSSW・SCや他の行政機関が選択肢にないため、困りごとが潜在化しているご家庭や当事者が多いと考えられる。学校との連携をさらに密にし、相談が必要な保護者の早期発見、家庭や学校生活で困り感を抱えている児童生徒の早期発見に繋げ、少しでも困りごとを解決出来るような学校との連携体制を目指す。
評価	B	評価の理由 SSW・SCの活動としては一定の成果が得られているが、その広報活動についてはあり方が難しく、今後の課題としても残るため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	当事者の状況と支援制度をすり合わせつつ導く取組であるが、「相談しても良い事なのだ」という理解に当事者が至っておらず潜在化している場合、当事者における支援制度への理解が十分とは言えない場合、及び当事者の状況改善を図るための制度利用申請が連絡を取り難い関係者しかできない場合などもあり、潜在している事案の顕在化、支援制度の広報活動の促進や支援制度自体の改善の検討など課題も多い。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 収納課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	30	生活上の困難に直面する女性等への支援	
取組内容	経済的困難や社会的困難など、さまざまな生活上の困難に直面する女性等に対し、相談員や関係機関等が連携し、世帯や子どもの実情に応じた自立支援を行うとともに、支援体制や支援策の効果的な広報活動の推進を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	令和2年度までの取り組みにより関係部署、関係機関等との連携の有効性が確認できたことを踏まえた、生活再建型滞納整理の具体的な方策の検討と実施。
	目標	滞納している世帯に対して生活困窮の実態の把握に努めるとともに、納税相談の推奨をはじめ、緩和措置や滞納処分の停止、関係機関への取次ぎなどを積極的に行うことにより、生活再建を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	昨年度効果のあった関係部署、関係機関等への取次ぎを継続した。また、対応する職員の能力により案内に差が生じないような方策として、ICTを活用した生活再建型滞納整理の仕組みの構築に着手し、令和4年度から運用を開始する予定である。
	今後の課題	ICTを活用した生活再建型滞納整理の仕組みについては全国でも珍しい取り組みである。今後関係部署と綿密に調整を進め、いかに有効なものとするかが最たる課題と考える。
評価	A	評価の理由 関係部署、関係機関等との連携を継続しつつ、ICTを活用した生活再建型滞納整理の仕組みも運用開始のめどが立ったことから、よりきめ細かく各支援制度等を提案する体制を強化させることができたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	生活上の困難に直面する女性等への支援には、関係部署、関係機関等と連携して取り組むことの有効性が確認できたことから、今後は生活再建型の取組などについて更なる連携、促進に注力していくこととする。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 子育て支援課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	31	経済的な子育て支援体制の充実	
取組内容	安心して子育てをしながら生活できる環境を整備するための経済的な支援事業を実施する。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・離婚届提出時等に児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成の制度の周知を図っている。 ・広報やホームページ等において、制度内容の周知を図っている。ひとり親家庭等医療費助成については7月、児童扶養手当については8月に広報へ掲載し、周知を図っている。 ・児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等医療費助成の実施、ひとり親家庭等の親の就業支援を実施している。 ・新型コロナ対応として給付金の支給を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の知識の向上を図り、担当者不在の場合でも対応できる体制づくり。 ・広報やホームページ等で市民等へのより一層の周知を図る。 ・離婚世帯、未婚世帯が増加し、世帯状況も複雑化しているため、各世帯にあった支援ができる体制を整え、支援事業を実施する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭に対し、保育料の減免を行っている。 ・広報や市HP等により制度を周知、法改正等についても随時更新し、対象家庭へは個別に案内を送付している。また、窓口においても手続きの案内の徹底を図っている。 ・各世帯に応じて支援事業を実施した。 自立支援教育訓練給付金事業:3名、高等職業訓練促進給付事業:7名、母子父子寡婦福祉資金貸付:7名 ・新型コロナの影響を踏まえ、ひとり親家庭等に対して臨時特別な給付措置として、「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)事業(国事業)」を行った。 ・各上級学校への進学を控えた小学校6年生と中学校3年生のひとり親家庭等の子どもに対する学習支援事業として図書カードを支給した。(市内居住者の寄付金によるもの) 対象児童:147名 	
	今後の課題	今後も継続して事業を実施する。	
評価	A	評価の理由	それぞれの取り組み内容を行い、目標を達成した。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も継続して事業を実施する。
----------------	-----------------

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 教育振興課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	31	経済的な子育て支援体制の充実	
取組内容	安心して子育てをしながら生活できる環境を整備するための経済的な支援事業を実施する。		

R3年度取組内容	取組内容	荒尾市就学援助事業を実施し、経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に係る費用の一部を援助する。
	目標	保護者に対して、制度の周知を図るとともに、就学に係る費用の支出が厳しい世帯へ金銭的な援助を行うことで、児童生徒が安心して学業等に励むことができるよう取り組んでいく。また、支給費目を拡充し、更なる対象世帯の負担軽減に取り組んでいく。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	経済的支援として就学援助費の支給を行ったり、広報あらおやホームページで小中学校の保護者へ周知を行った。なお、次年度入学新1年生の対象児童生徒保護者に、入学準備金を支給し、このことについても、小学校の就学時健康診断の際に、保護者への制度周知を図るなど、広く周知することができた。
	今後の課題	生活に困窮している世帯で、まだ生活保護や就学援助を活用できていない方がいることが予想されるため、引き続き、チラシによる広報やSSW・SCと連携等し、保護者に周知を行っていく。
評価	B	評価の理由 全ての保護者に周知が行き届いていない可能性もあるため、引き続き保護者への周知を行っていく。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	例年、保護者へ周知のためのチラシを各学校より配布し、HPでの情報提供を行っているが、誰にでもすぐにわかるような工夫がさらに必要のように思う。今後も保護者が疑問なく申請できるような工夫を行う。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 保険介護課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	32	高齢者の介護等への支援	
取組内容	各種介護サービスの充実を図るとともに、介護予防対策や認知症対策、情報提供や相談体制の整備、地域の協力体制の構築等を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	地域密着型サービスをはじめとした介護サービスの充実に加え、介護予防・日常生活支援総合事業による要支援認定等の軽度者向けサービスの充実、また、地域での介護予防体操やいきいきサロンといった一般介護予防を充実し、それぞれの状況に応じて包括的な支援の実施体制を構築するとともに、窓口での相談内容に応じて、適切なサービスの提案を行う。
	目標	総合事業指定事業所については、事業内容の周知及び指導を行う。また、生活支援コーディネーターと連携し、地域の介護予防体制の構築に努める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		認知症サポーター数	人	5,969 (H28.3.31)	7,483	8,759	10,099	10,957	11,709	12,451

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	新型コロナウイルス感染症の影響により、「いきいきサロン」や「体力アップ体操」、「介護予防教室」の新規開設はなかった。高齢者の新型コロナワクチン接種は進んでいるが、いきいきサロンや介護予防教室については、地域によっては開催自粛が続いた時期があった。
	今後の課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。
評価	B C	評価の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きく、目標値までには至らなかった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施し、コロナ禍でも開催できるよう、実施方法を模索していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	取り組み内容を評価するにあたり、成果指標とは別の取り組みを重視してあるが、成果指標も重要な評価項目である。総合的に評価をするべきである。
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 防災安全課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	33	高齢者の社会参加の促進	
取組内容	地域における高齢者の居場所づくりや、経験や技術を活かして高齢者が活躍できる機会の提供を推進し、地域社会への高齢者の参画を促進するとともに、シルバー人材センター等を通じた高齢者の多様な就業機会を提供し、高齢者の能力開発、就業の促進を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	地域や老人クラブ等から交通安全教室等の受講依頼を受け、高齢者を対象とした出前講座を開催する。
	目標	高齢者自身の交通安全意識の向上はもとより、性差による偏りのない参加状況を作り出し、高齢者の誰もが参加しやすい講座の環境づくりを目指す。(女性の参加者に著しい偏りが無いこと(この場合、女性の参加比を少なくとも50%以上とする))

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	コロナ禍により、高齢者を一堂に揃えての講習会等を開催することは、感染症拡大予防の観点から極めて困難であった。オンライン方式の開催については、受講対象者である高齢者の全てにインターネット環境が普及している訳ではなく、また、行政がそのインフラを整備することはできないことから、実施は困難である。
	今後の課題	コロナ禍が収まり次第、講習会を再開する。
評価	D	評価の理由 講習会を行うことができなかった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	高齢者の交通事故死亡事故割合は、依然として高い水準となっているため、交通安全教室において高齢者における注意点など周知を徹底し、さらなる充実を図ることで、高齢者の意識高揚を図る。 また、サポカー普及促進により、交通事故件数のさらなる減少を目指す。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 保険介護課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	33	高齢者の社会参加の促進	
取組内容	地域における高齢者の居場所づくりや、経験や技術を活かして高齢者が活躍できる機会の提供を推進し、地域社会への高齢者の参画を促進するとともに、シルバー人材センター等を通じた高齢者の多様な就業機会を提供し、高齢者の能力開発、就業の促進を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	将来の介護人材不足や高齢者の介護予防に資するため、介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスとして、市の委託事業として荒尾市シルバー人材センターによる「家事おたすけ隊」を平成29年度から開始し、要支援認定高齢者等に生活支援としての掃除や買物を中心にサービスを提供している。
	目標	地域包括支援センターのケアマネジャーにより軽度認定者のうち専門職でなくても支援が可能な方については、シルバー人材センターの利用促進のため、新規利用者を中心に利用勧奨を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	現在、パンフレットの活用、あらお広報へのシルバー人材センターの相談会を掲載する等して、利用者及び会員数の増加を目指し、周知を行っている。しかし、本年度新型コロナウイルスの自粛等の影響もあり、地域の集まり、外出や第三者との接触を控える等、利用者及び会員数は微増にとどまっている。
	今後の課題	令和3年4月より、近隣地域との均衡を図り委託料単価を50円引き上げた。利用者の負担額は、そのままにしており、新型コロナウイルスの感染予防対策、様々な方法での制度周知と合わせて、利用者及び会員数の増加に努めたい。
評価	B	評価の理由 新型コロナウイルス感染症が長期化している中、目立った成果はないが、微増へとつながった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	前年度から現在に至るまで、会員数は横ばいであり、利用者のニーズに応えることが難しいこともあるため、会員数の増加が望まれる。 今後新しいパンフレットの活用を始め、様々な方法で制度の周知を図り、利用者及び会員の増加に努めたい。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 産業振興課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	33	高齢者の社会参加の促進	
取組内容	地域における高齢者の居場所づくりや、経験や技術を活かして高齢者が活躍できる機会の提供を推進し、地域社会への高齢者の参画を促進するとともに、シルバー人材センター等を通じた高齢者の多様な就業機会を提供し、高齢者の能力開発、就業の促進を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	地元高齢者を積極的に雇用するよう市内企業に呼びかける。関連機関からのセミナー情報や最新の取り組み等の情報を発信する。
	目標	市内企業へ訪問時に、高齢者雇用について啓発を図る。関連機関から提供された情報やリーフレットを活用し、ホームページ等で発信し、高齢者の社会参加の促進を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	関連機関から提供のあった、中高年齢者のセミナー等のリーフレット設置等を行った。
	今後の課題	高年齢者雇用に関する情報についての周知をどのように行くと効果的なのか検討する必要がある。
評価	B	評価の理由 高年齢者雇用に関する情報をあまり周知することができなかったため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も、市内企業を訪問し、高齢者雇用の推進を図る。
----------------	---------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 生涯学習課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	33	高齢者の社会参加の促進	
取組内容	地域における高齢者の居場所づくりや、経験や技術を活かして高齢者が活躍できる機会の提供を推進し、地域社会へ的高齢者の参画を促進するとともに、シルバー人材センター等を通じた高齢者の多様な就業機会を提供し、高齢者の能力開発、就業の促進を支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	中央公民館における万年青大学を実施し、高齢者の知識の向上を図る。 小学校に高齢者を派遣し、高齢者の経験や技術を生かし高齢者が活躍できる場の提供を図る。
	目標	高齢者への生涯学習の場の創出を目的として、中央公民館において、55歳以上の方を対象に、毎年6月から翌年3月までをひとつのシリーズとして、月1回のペースで生活に密着した様々なテーマについての講座を実施する。 万年青大学について、新規の会員数が減少しているため、参加者等の周知を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	7月から教室を開講し、68名が申込んだ。新型コロナウイルス感染拡大の影響で参加者が減少し、まん延防止等の関係で教室が中止となることがあった。(6回実施)
	今後の課題	高齢者がより学べる場所とするた、講座内容を見直していく。
評価	B	評価の理由 新型コロナウイルスを考慮しつつ、教室の運営ができたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	会員の年齢層が徐々に上がり、新規会員数も減少しているため、受講生の確保が課題である。地域学校協働活動に関しては、高齢者が参加できる機会を少しでも増やすことが課題である。学校活動を行う平日昼間に学校支援ボランティアができる地域人材として有効に活用していきたい。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 産業振興課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	34	障がい者が安心して暮らせる環境の整備	
取組内容	各種障がい福祉サービスの充実を図り、障がい者が安心して暮らせる環境の整備、障がい者の自立支援、就労支援等を推進するとともに、情報提供や相談体制、地域の協力体制の整備等を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	障がい者を雇用するよう市内企業に呼びかける。関連機関からのセミナー情報や最新の取り組み等の情報を発信する。障がい者を雇用した事業所に対し、「障害者雇用助成金」を交付する。
	目標	市内企業へ訪問時に、障がい者雇用について啓発を図る。「障害者雇用助成金」について広く周知し、障がい者雇用の促進につなげる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	国の障がい者雇用の制度である特定求職者雇用開発助成金受給期間満了後、2年間で荒尾市が障がい者雇用奨励金の支給を行っている。昨年度は過去最多の申請があった。(R3申請者:15人(内新規8人)) 企業を行い、奨励金制度について認知してもらい障がい者の雇用拡大へ繋げることができた。
	今後の課題	国の制度や市の制度について、もっと認知してもらい障がい者の雇用拡大を促す必要がある。
評価	A	評価の理由 市内企業に対し、障がい者雇用奨励金制度を十分周知し雇用拡大へつなげることができたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	障害者雇用助成金の周知をはかり、企業の障がい者雇用への理解を深めることが必要である。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 保険介護課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	在宅医療・介護連携推進事業においては、在宅ネットあらおを中心に市内医療機関、介護事業所、地域住民などの各団体と連携を図る。
	目標	在宅ネットあらおにおいて、医療介護連携内容の情報更新、市民への普及啓発及び相談対応、専門職の研修などを行い、地域包括ケアシステムの構築を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	オンライン開催とすることで、事例検討会については予定どおり実施できている。新型コロナウイルス感染症の影響により、市民公開講座は中止となった。
	今後の課題	会議体でないと効果の得られない研修会等があり、代替策の検討が必要である。

評価	B	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、市民公開講座が開催できなかったが、人数制限やWEB研修会を行うなど、工夫をしてできる範囲で研修会を行った。庁内連携の推進を行うことができた。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	在宅ネットあらおの認知度が低ため、更なる周知啓発活動を強化していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 土木課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	定期的な道路パトロールによる危険箇所への早期対応により、安全な道路の整備促進を図る。 市道改良工事における歩道整備により、高齢者・障がい者等の市内各地域間のより安全なアクセス路線の整備に努める。
	目標	定期道路パトロール：市内全域の市道の巡回点検2回／月により、各路線の管理状況を把握する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	定期道路パトロールを月2回実施し、危険箇所の早期発見・対応により安全な道路を維持できた。
	今後の課題	道路パトロールを実施することにより、危険箇所の早期対応を行う。また、補修・改修箇所を整理し、全体計画を作成することで計画的に補修、改修を行い適切な維持管理に努める。
評価	A	評価の理由 道路パトロールを確実に実施することにより、道路の適切な維持管理を行い、維持管理に起因する事故等の発生は、0件であった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	道路パトロールを実施することで、危険箇所の早期対策を行う。また、補修・改修箇所を整理し、全体計画を作成することで、計画的に補修、改修を行い適切な維持管理に努める。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 建築住宅課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	①市営住宅の暮らしやすい住環境づくり、介護の負担軽減等のために、2階建て市営住宅の室内階段に手摺を設置する。 ②ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業 民間事業者が店舗等の建築を誰もが利用しやすいように改修する際、県とともに改修費の一部を助成する。
	目標	①手摺設置件数:5戸 ②制度利用者に対し適切な処理を行う

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	①手摺設置件数:0件 ②制度利用者数:0件
	今後の課題	①今後は2階建て市営住宅だけでなく、市営住宅の用途廃止に伴い、別市営住宅に移転する高齢者等の方々の手すり設置について検討する必要がある。 ②引き続きホームページ等で周知を行う必要がある。
評価	C	評価の理由 2階建て市営住宅において、手摺をすでに設置している世帯が多く見受けられ、一定の成果が得られている。ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業においては、ホームページ、広報等で適切に周知できている。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	①修繕内容確認等で訪問する世帯には手摺の設置が進んでいるため、未だ手すりを設置していない世帯への設置・周知が課題である。 ②引き続きホームページ等により募集を行い、より周知を行う。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 市民病院
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	施設のバリアフリーの推進を図る。
	目標	委員会活動等を通し、院内の施設設備の障害や不良箇所のチェック、改善を行う。高齢者や障がい者、患者様の利用しやすい施設を目指す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	年間を通して施設見回り(委員会活動等)にて病棟雨漏り箇所の修理や不良箇所の確認を行ったり、病院入り口までの通りで秋から冬にかけて枯れ葉が落ち、路面が滑りやすくなるため定期的な清掃を行うなど、現状でできる限りの改善を行った。そのほか、コロナ渦での外国人患者対応のため翻訳機や面会等ができるようタブレットの導入を行い、どんな患者様であっても利用しやすい施設となるよう心がけた。
	今後の課題	施設設備に関しては老朽化が年々進み、改善できることがかなり限られてきており、ハード面での改善は限界を感じる点もあるが、患者様やご家族の方、地域住民の方、職員が荒尾市民病院を安全に安心して利用していただけるよう施設の環境整備を引き続き行っていく。そして、ソフト面での改善にも力を入れていきたい。
評価	C	評価の理由 上記の通り、施設設備に関しては老朽化が進んでしまい、改善や対応できることが限られてしまっているため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	利用者様からのご意見やアンケートで建物や設備の老朽化によるご意見を頂くことが増えた。建て替えを前に、現在の施設・設備で可能な限り、患者さんが快適に過ごせる空間づくりを目指すため、施設内の巡回や備品の管理などを行い、安全で安心できる環境づくりを行う必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 関係各課(財政課)
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	庁舎内の案内掲示等を適宜見直し、来庁者がわかりやすい掲示にする。また、職務が効率的に果たされるよう安全で衛生的な環境を保つための職場環境整備を行う。
	目標	庁舎の管理を通じて、来庁者が利用しやすい市役所となるように整備を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	令和3年3月末の執務室及び会議室の配置換え・新設に伴い、庁内案内掲示を修正した。また、市民から要望があったため、庁舎2階廊下に休憩用ベンチを2か所設置した。新型コロナウイルス感染症対策として、非接触型体温計を庁舎入口4か所に設置した。また、各課が会議等で使用できるよう貸出用アクリルパーテーションを財政課で導入したほか、外部を含む多人数での会議等で使用する頻度の高い11号会議室・43号会議室にはパーテーションを常設した。その他、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、議場や51号会議室をまん延防止等重点措置適用期間中の分散勤務用執務室として整備するなど、状況に応じて対応を行った。
	今後の課題	今後も執務室や会議室等の配置換え・新設に伴って庁内案内掲示を適宜修正していく必要がある。また、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、庁舎内の安全性や衛生環境について対策を講じていく。
評価	B	評価の理由 庁舎設備については、今後も状況に応じて逐一改善していく必要があると考えられる。庁舎内の安全性・衛生管理については体温計の設置やパーテーションの整備など一定の成果がみられるが、こちらも今後の状況次第で都度整備を行っていく必要がある。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	令和3年4月からの組織改編に伴い、各課の執務室や会議室等庁内の配置に変更が生じるため、庁内案内表示等を適宜修正していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 関係各課(産業振興課)
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	高齢者・障がい者等に配慮したバリアフリー化等に関して、情報を積極的に共有し、最新情報を発信し、まちづくりに生かしていく。
	目標	公共施設について、高齢者・障がい者等に配慮した施設となるよう、努める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	プロローグ広場をはじめとした公共施設が誰にでも使いやすい場所になるよう、施設管理を行った。
	今後の課題	高齢者や障がい者の立場に立った整備をする必要がある。
評価	B	評価の理由 昨年停止線の塗り替えや道路舗装を行ったため、大きな整備を行うことがなかった。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりについての情報に気を配り、情報共有に努める。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 関係各課(都市計画課)
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	35	高齢者・障がい者等に配慮した社会基盤の整備	
取組内容	建築物、道路、公共交通機関等公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者・障がい者等に配慮したまちづくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	南新地土地区画整理事業施行地区内に新設する交差点は歩道との段差を少なくする。公園では、出入口の開口部確保、広場の不陸整正などを行い利用者がより安心して利用いただける取り組みを行う。
	目標	今年度整備を予定している交差点や公園のバリアフリー化を推進する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	令和3年度の実績については、予定していた箇所については工事、修繕することができた。
	今後の課題	南新地土地区画整理事業施行地区内の交差点や歩道について、新たに整備が必要な箇所があるため、同時にバリアフリー化を行う必要がある。令和3年度公園出入口の開口部確保、広場の不陸整正を行ったが全ての公園がバリアフリー対応になっていないため、今後も継続してバリアフリー化行っていく必要がある。

評価	A	評価の理由	予定していた箇所について、全て完了することができたため。
----	---	-------	------------------------------

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	令和2年度に公園出入口のスロープ化や照明設備設置を行ったが全ての公園がバリアフリー対応になっていないため、今後も継続してバリアフリー化行っていく必要がある。また南新地土地区画整理事業施行地区内の交差点も整備が必要な箇所があるため、同時にバリアフリー化を行う必要がある。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 文化企画課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	36	国際理解と国際交流の推進	
取組内容	外国人による授業を通じ、児童生徒の愛国心や異文化理解を促進し、国際的視野に立った男女共同参画の意識啓発を推進する。また、ホームステイやホストファミリー等の活動を支援し、市民の国際的視野の育成、国際交流を促進するとともに、国際交流団体の活動を支援し、市民に国際交流の機会を広く提供し、外国人が安心して暮らすことができる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	ホームステイ等を通じた身近な国際交流の支援を行うため、ホストファミリーバンク制度の周知啓発を行い、登録者の増加と活用を図る。また、前年度に引き続き、男女共同参画をとりまく国際情勢に関した国際交流員(CIR)による出前講座の実施に向け検討・計画し、国際的視野に立った男女共同参画の意識啓発推進に資する。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流員(CIR)による男女共同参画に関連する出前講座の計画・実施。 ホストファミリーバンク制度の登録世帯を15世帯以上を維持する。(令和2年実績:18世帯) 上記同制度を円滑に運用し、登録家庭とホームステイを希望する国際団体への情報提供を迅速に行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、ホストファミリーバンク制度の周知啓発及び活用を図ることができなかった。登録世帯は14世帯。 国際交流員(CIR)による男女共同参画に関連する出前講座の検討を行ったが、需要が少なく、具体的に計画・実施にまでは至らなかった。
	今後の課題	アフターコロナに向け、異文化の理解や国際的視野の育成につながる効果的な国際交流事業の検討を行う必要がある。

評価	D	評価の理由	新型コロナウイルスの影響があり、積極的な国際交流の事業を実施することが困難であったため。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	ホストファミリーバンクの登録者について、登録から複数年が経過し連絡がつかない世帯もあるため、実態調査を行いつつ、新たなホストファミリーを増やすため認知度を高める必要がある。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	3	安心・安全な暮らしの実現	担当課 教育振興課
施策の基本方向	4	安心して暮らせる環境整備	
具体的施策	36	国際理解と国際交流の推進	
取組内容	外国人による授業を通じ、児童生徒の愛国心や異文化理解を促進し、国際的視野に立った男女共同参画の意識啓発を推進する。また、ホームステイやホストファミリー等の活動を支援し、市民の国際的視野の育成、国際交流を促進するとともに、国際交流団体の活動を支援し、市民に国際交流の機会を広く提供し、外国人が安心して暮らすことができる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	自国を愛し、他国の文化や歴史を尊重する態度を備えた児童生徒を育成するために、全ての教育活動において国際理解教育を推進する。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校において、ALT等を活用した外国語活動や英語教育を充実させることにより、児童生徒の国際感覚を育成する。 英語活動や英語授業及び郷土の偉人や歴史等を学ぶことにより、郷土を愛し、異文化を受け入れる国際感覚豊かな児童生徒を育成する。 小学校英語の取組については、文部科学省教育課程特例校の指定を終えた中央小学校の研究成果を参考にしながら、その成果を全小中学校に広げていく。 平成30年度からALT2名を増員しているため、継続して中学校専属ALT3名(各中学校1名うち1名は小学校も兼務)、小学校10校に対しALT2名を配置した。R3年度もこの態勢を継続する。 平成29年度までは英検チャレンジ(英検を市費で負担する事業)を中学1年生のみ対象としていたが、平成30年度から対象を3年生まで拡大し、更なる定着を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ベース校として、海陽中、三中、四中、一小、中央小にそれぞれ1名ずつ配置することで、各小中学校でのALT活用の機会を増やし、英語教育の充実を図ることができた(令和3年8月からは一小をベース校とするALTは欠員)。 令和3年度当初においては、令和2年度に引き続きALTを5名としたが、その後令和3年8月任期満了で帰国した1名の代替となる新規ALTの来日が新型コロナウイルスの影響で、実現できなかったため、令和3年8月からは4名態勢となった。 小学校英語の取組については、文部科学省教育課程特例校の指定を受けた中央小学校の実践を参考にしながら、その成果を全小中学校に広げることができた。 英検チャレンジを昨年同様実施し、生徒の英語学習機会の増加、自信を身に付けて課題をみつけたりするきっかけづくりの増加につながった。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 研修団体である英語教育研究会の活動として、小学校・中学校でそれぞれ公開授業及び授業研究会を実施する予定であったが、新型コロナの影響で実施できなかった(R4年度実施予定) ALTを効果的に配置するとともに、英検チャレンジの効果的活用、人材育成、英語教育研究会の活動を充実させるなどを行い、児童生徒の英語力を高めていく。

評価	A	評価の理由	全ての小中学校において、ALT等を活用した外国活動や英語教育を充実させることができた。その結果、郷土を愛し、異文化を受け入れる国際感覚豊かな児童生徒の育成にも成果が見られた。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	5名のALTを活用した小学校外国科・外国語活動および中学校英語科の授業指導においては、各学校のカリキュラムに基づき、質の高い授業が実施されている。しかし、ALTの効果的な活用については課題が残る。R3年度もALT5名であるが、授業の量的な不足面を補う事ができるような質の高い授業を行わなければならない。また、児童生徒の英語の学力向上のための取組(中学校においては英検検定料を全額負担する英検チャレンジなど)を平成27年度から、29年度は中1のみ対象としていたが、H30年度からは中3まで拡大しているため、継続して積極的な参加を促し、英語の学力向上とグローバル感覚を踏まえた男女共同参画の促進につなげる。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	